

本

と出会う楽しみ、知る喜び
西尾っ子読書フェスティバル

4月21日から5月13日にかけて、市内の各市立図書館で「西尾っ子読書フェスティバル」が行われました。各館では読み聞かせ会や工作、読書ノートの配布、電子書籍の体験などのさまざまなイベントを開催。西尾市立図書館では、4月21日に絵本作家ひろかわさえこ氏の講演会が開催され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

吉良図書館では、4月28日に忍たまおりがみ講座が行われ、折り紙で手裏剣を作り、的に投げて楽しみました。29日には人形劇が行われ、人形とふれあう子どもたちの楽しそうな声が響いていました。



4

月19日は「良いきゅうりの日」
一色中部小学校ふれあい給食

4月19日、一色中部小学校で地元のキュウリ生産者と児童のふれあい給食が行われました。これは、子どもたちに地元でキュウリがたくさん生産されていることをPRし、食や農業への関心を深めてもらおうと西三河冬春きゅうり部会が企画。生産者による映像を交えたキュウリ生産の説明の後、児童は同会から寄贈された新鮮なキュウリを使った献立の給食を生産者と一緒に楽しみました。



里

山の自然環境をみんなで守ろう
万燈山の手入れを実施

4月21日、いきものふれあいの里サブゾーンの万燈山で、里山保全活動「万燈山の手入れをしよう」が行われました。

この活動は里山の環境を守るために行われているもので、市内事業所のボランティアグループのメンバーら約80人が参加し、小雨が降る中、作業を行いました。チェーンソーを使った木の間伐や、のこぎり・鎌での枝打ちや下草払いを行うこと約2時間。みんなで協力して作業を行った場所は、すっきりと整えられた山肌になっていました。



4/12 地区交通指導員大会

市役所で地区交通指導員大会が挙行され、市長から各地区の指導員会長に委嘱状が手渡されました。



4/22 東条吉良氏毎歳法要

吉良町花岳寺で東条吉良氏毎歳法要が営まれ、多くの人が遺徳をしのびました。併せて、NHK映像デザイン部部長の古川法一郎氏による記念講演が行われました。



4/29 春の叙勲・褒章を内閣府が発表

市内では教育功労の井関公宏氏（八ツ面町／70歳）、高須正義氏（寺部町／70歳）、保健衛生功労の加藤幸則氏（吉良町／63歳）が瑞宝双光章、社会奉仕活動功労の廣瀬昇一氏（永吉二丁目／85歳）が緑綬褒章を受章しました。

5/3 SLの機関室を一般公開



西尾公園にあるC12型230号蒸気機関車の機関室を一般公開。子どもたちがレバーを動かしたり、汽笛を鳴らしたりして遊んでいました。

今月の表紙

5月1日、稲荷山茶園公園近くの茶園で茶摘みセレモニーが行われました。昔ながらのかすり姿に手ぬぐいの姉さんかぶり、茜たすきの茶摘み娘に扮した茶生産農家の女性たちが、新緑まばゆい新芽を丁寧に摘み取っていました。

編集 雑記

5月の連休に遠方から友人が家族で遊びに来ました。楽しんでもらおうといういろいろ連れ回し「さすが広報担当だね」と褒められました。「当然よ～」と言いつつ、実は他の広報担当のお知恵を拝借して観光計画を立てていた私。担当5年目に突入しましたが、まだまだ知らないことが多いものです。後日、友人から写真が送られてきたので、ベストショットをフォトフレームに飾りました。友人家族全員の笑顔の写真、つまり私が撮ったもの。さすが広報担当、なんちゃって。（かき）

西 野町小学校児童が手もみ茶や石臼挽き、抹茶点てに初挑戦！

立春から数えて88日目となる5月1日、上町にある稲荷山茶園公園周辺で八十八夜行事が行われました。

公園内では、西野町小学校の3年生児童47人が野外体験学習として5人1組でグループになり、手もみ茶づくりや石臼挽き、抹茶点てを体験しました。若手の茶生産者で構成する西尾茶業クラブ員の指導のもと、児童たちは見よう見真似で手や指を動かしながら楽しそうに茶葉に触れ、地元の郷土文化を肌で感じていました。



美 しい風景と美しい音色 三ヶ根山青空フェスティバル

5月3日、雨上がりの三ヶ根山スカイライン山頂。和太鼓「梵迦」による小気味よい和太鼓の音色が会場に響き渡り、フェスティバルの開始を告げました。訪れた人々は、景色と演目を同時に楽しむことができる特設ステージの前の石段に腰を下ろし、ハーモニカの演奏に耳を傾けたり、バンドの演奏と一緒に歌を口ずさんだりしていました。子どもたちは、スーパーボールすくいや三ヶ根観音の境内での宝探しも楽しんでいました。



いつしか太陽も雲間から顔をのぞかせるようになり、文字通りの「青空フェスティバル」となりました。

いつしか太陽も雲間から顔をのぞかせるようになり、文字通りの「青空フェスティバル」となりました。